

小千谷市立 総合支援学校 進路だより

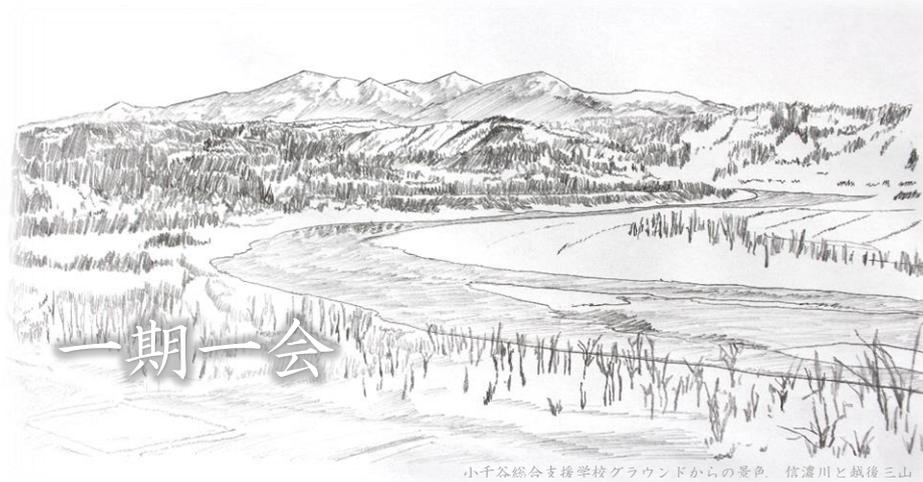
No.4 (R5/8/30)

〒949-8721

小千谷市大字塩殿甲 2144 番地

進路指導部:樋口華子

TEL 0258-82-1878



一期一会

小千谷総合支援学校グラウンドからの景色。信濃川と越後三山

夏休みが終了しました。

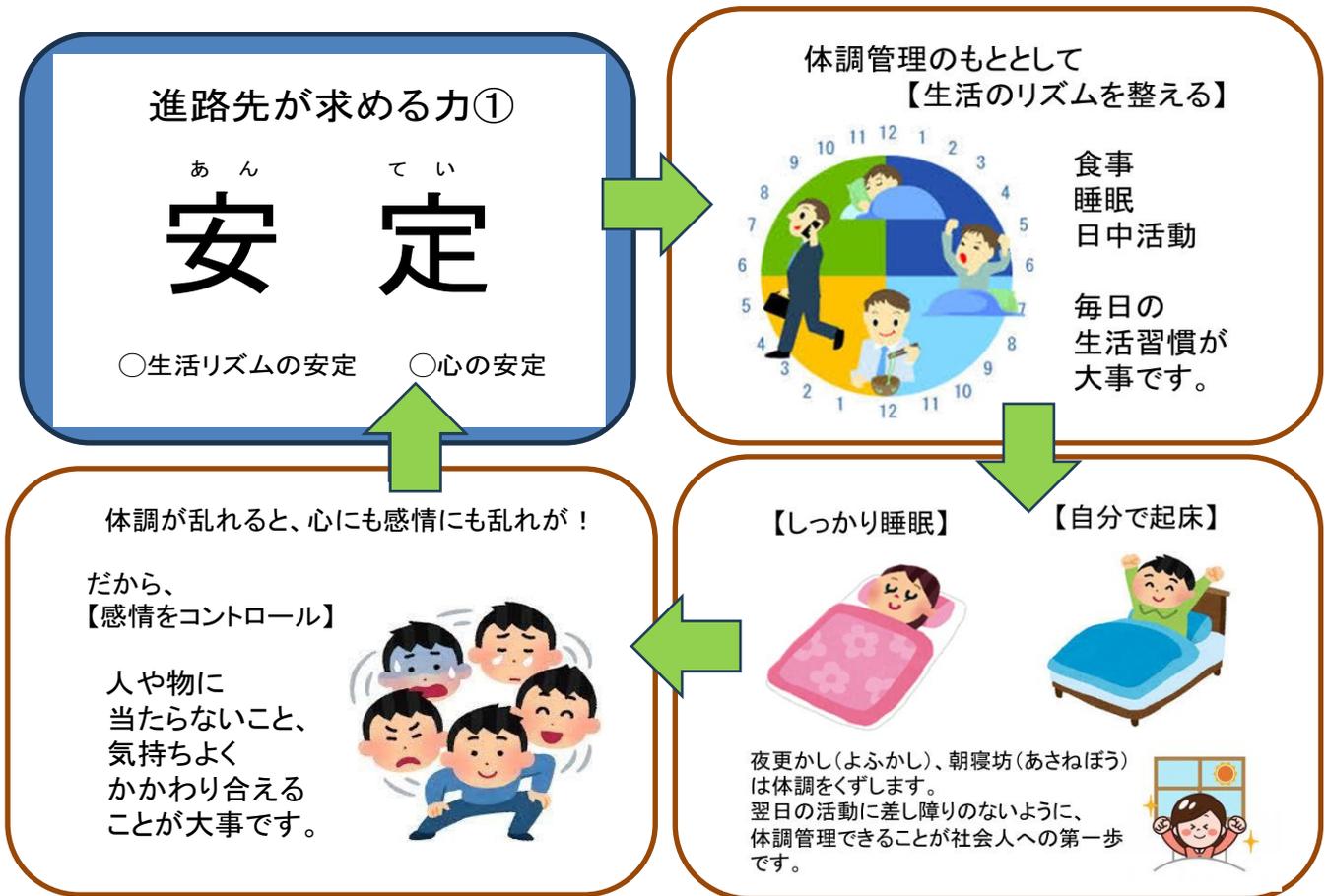
2学期も

よろしくお祈いします



高等部では年に2回、実習期間を設け、校内や職場での実習に取り組んでいます。7月には前期の校内・職場実習が終わりました。実習後はそれぞれの実習先から評価をいただきました。生徒たちの成長を願って、実習先の皆様から率直なご意見をいただいております。ぜひ、今後の取り組みに生かしてほしいと思っています。

そこで、今回は「進路先で求められる力」について考えてみたいと思います。「挨拶・返事」「報告・連絡・相談」「時間を守る」など、基本的なものはもちろんですが、福祉サービス事業所や企業の担当者様と話をしていると特に「**安定**」を求められることが多いような気がします。



当たり前と思われることが、実はとても大切なことで、卒業後の生活にずっとつながっていく内容だと思っています。できることから始めていきましょう。

保護者アンケート(高等部前期実習)の紹介

高等部の保護者様よりいただいた実習アンケートを一部ご紹介します。



Q, 今回の実習でお子さんにどんな成長・成果が見られましたか？

- ・1,2日目は帰ってくると玄関で「疲れた」と座り込んでいたが、3日目からは「疲れた」と言いつつも表情が良く、自信がついたような印象がありました。
- ・夕飯の支度をしていると、「何か手伝うことはありませんか？」と聞いてくるが増えました。
- ・初日は気がのらなかったようですが、昨年より少し大人になりました。
- ・短い期間だったが、体調不良のなか、実習に行けて良かったです。
- ・昨年よりもイキイキと一人でバスの乗り降りができて良かった。
- ・仕事をしたいという意欲が見られた。



Q, 実習に関して、保護者の立場からのお考えをお聞かせください

- ・本人の弱い所が仕事をする上では大切なことが多い。気長に接する、相手にも伝えていくことが大切だと再認識しました。
- ・一般企業で実習できたことに感謝しています。今まで見たこともない世界で、感じることも異なるので、良い刺激を受けたことと思います。自分の得意、不得意が見えたのではないかと思います。
- ・校内実習で社会に出る心構えを意識でき、自分にどんな作業が向いているかなど体験を通して考えられる素晴らしいシステムだと思います。成功体験ももちろんですが、困った時の行動が学べると就職した時の不安感が減ると思います。
- ・高等部1年生から様々な事業所へ職場実習に行かせていただき、たくさんの経験を重ねることが出来ました。評価票の内容に一喜一憂することもありましたが、3年生になり、ようやく本人に合う事業所を見つけることができました。
- ・慣れた所でも毎日不安があり、どうしたら不安を少なくできるか…。



Q, 今後に向けてのご要望、ご質問、将来の生活や社会についてのお考えをお聞かせください。

- ・今回の実習先では、苦手な事が起こったら職員の方が対応して下さるとのことだったが、将来就職した時には、どこまで融通が効くか心配です。
 - そうですね。誰も苦手なことはあると思いますので、在学中に社会の中で受け入れられる対処法をもっておくことが大切だと思います。また、特に企業就労では、「自分から発信する」力が求められます。「〇〇が苦手ですが、△すれば大丈夫です」など自分から伝えられるといいですね。
- ・卒業後の相談先、大人になった際の福祉サービスの使い方など何も分からないので、相談員さんや事業所の方などに聞き、少しずつ先を見ることができればと思います。
 - 確かに「児⇒者」になると、制度なども変わってきますよね。学校では、卒業後の移行がスムーズになるよう、3年後期の職場実習からはできるだけ相談員さんにも同行して頂けるようお願いしています。また、卒業前には移行支援会議が行われ、本人のサポートチームのメンバーが一同に会し、今後の支援について確認します。このサポートチームは特別支援学校のよい所ですよ。
- ・せっかく職場実習をさせていただくのであれば、企業様の都合もあると思いますが、フルタイムでやってほしいと思いました。
 - 確かに、卒業後はフルタイムで働く方が多いので、可能であればフルタイムで実習できるといいですね。時間については、打ち合わせ時にでも声を出して頂けると有難いです。



貴重なご意見・ご感想、ありがとうございました。